

micro iDSD BL の導入(6) —ヘッドフォンとイヤフォンの音質—

1. はじめに

[iEMach の導入\(2\)](#)と[iEMach の導入\(5\)](#)においては、micro iDSD のイヤフォン端子で iEMach の効果を報告しています。今回は、micro iDSD BL で同様の試聴を行います。

2. micro iDSD BL の試聴方法

今回は、micro iDSD BL のイヤフォン端子からイヤフォンの Sennheiser HE80 とヘッドフォンの Sennheiser HD590 で聴く場合の iEMach 介在の効果を確認しました。



音源は、FIDATA HFAS1-S10 による 11.2MHzDSD 音源の再生と BRD-UT16WX からの CD 再生とします。

3. micro iDSD BL の試聴結果

イヤフォンの Sennheiser HE80 で聴く場合、11.2MHzDSD 音源の再生では、そのままだでもかなり満足の行くレベルですが、iEMach の介在により DSD 音源としての魅力がさらに向上します。BRD-UT16WX からの CD 再生では、そのままだでは CD らしいエッジの効いた音ですが、iEMach の介在により、エッジがとれて滑らかな音になります。

ヘッドフォンの Sennheiser HD590 で聴く場合、11.2MHzDSD 音源の再生では、そのままだでも DSD 音源のクオリティを十分に享受できるレベルですが、iEMach の介在により DSD 音源としての魅力がさらに向上し、これ以上は望めないというレベルになります。BRD-UT16WX からの CD 再生では、そのままだでも CD 再生としては十分納得いくレベルですが、iEMach の介在により、CD を聴いているという感覚がなくなるくらいのレベルになります。

4. まとめ

FIDATA HFAS1-S10 による再生での **micro iDSD BL** のイヤフォン端子の音は、そのままでも満足いくレベルですが、**iEMach** の介在によりさらにその魅力が向上します。

以上